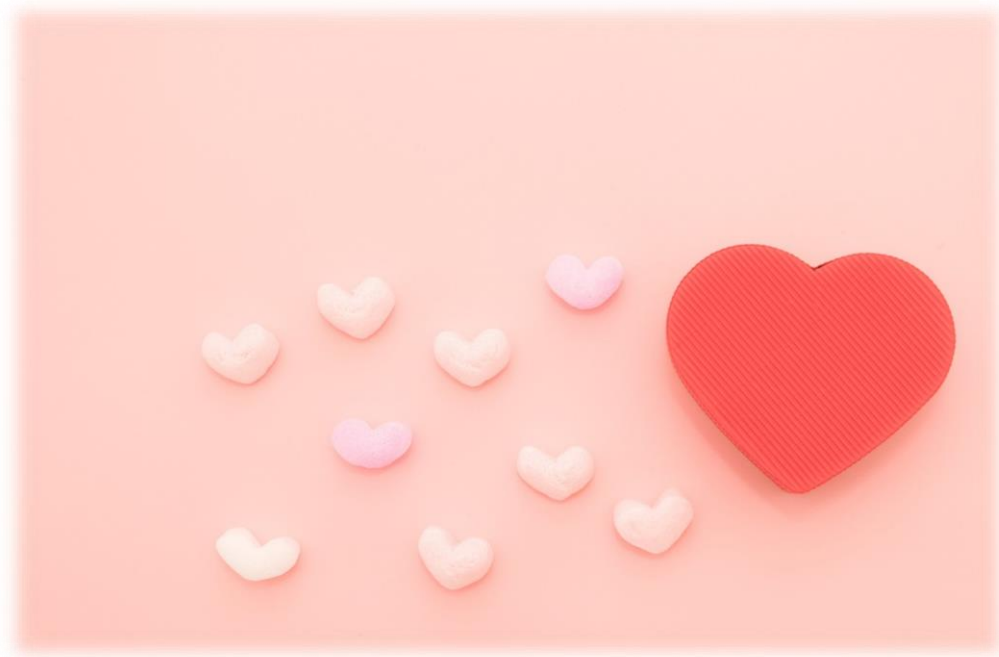




“貢献の心”を育てるための
「情」「知」「意」



情…関係性から湧いてくる思い

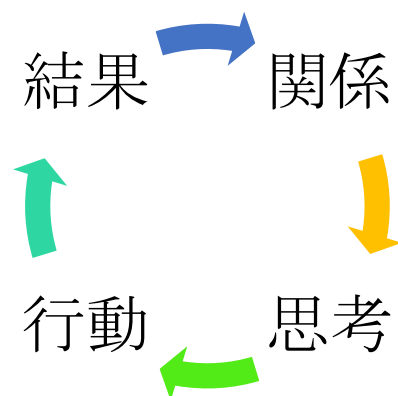


「関係性の質」が「思いの質」になります。

関係性とは、自分を取り巻く環境や人間関係のこと。

肯定的環境、肯定的人間関係により、

貢献したい「情」を育まれます。



知…自分で考える力



自分で考える力を育むには、知識を得ることも重要ですが、
考え方(価値観)に基づいてこそ、
知識から「創造力」「先読み力」「段取り力」が発揮されます。

創造力…無から有を作り出す力

先読み力…課題を発見し対応する力

段取り力…物事を組立てる力

意…前に踏み出す力



前に踏み出す力を遮るのは「失敗したらどうしよう…」
という思い。

失敗を恐れず、
貢献したい情を形にしてみる(行動する)ことで、
こころの中に「貢献」が定着していきます。

「情」「知」「意」はバランスよく



「知ること」は命の光であり、また蘇生のための力でもある。

無知からはいかなる情緒も生じ得ない。

また、無知と無情緒からはいかなる意志も生ずることはできないのである。

(総序 より)

エスポでできること



・ 情

- ・ リフレクション
- ・ コミュニケーション
など

・ 知

- ・ セミナー
- ・ 原理講義
- ・ 映像教材
- ・ セミナー・スクー
リングの生講義 など

・ 意

- ・ プロジェクトカリキ
ュラム
- ・ 2DAY
- ・ 4DAY
など